
2001年度日本液晶学会第2回理事会議事録

日時:平成13年4月28日(土) 13:00 - 17:00

場所:機械振興会館 B3 - 1会議室

出席者:野平博之、加藤英彦、幡野純、福田敦夫、岩橋槇夫、氏家誠司、太田和親、大西博之、小出志朗、後藤泰行、近藤克己、佐藤進、曾根原富雄、半那純一、檜山為次郎、藤村保夫、堀田定吉、堀佳也子、松廣憲治、森章、青木良夫、小野間英文

1.承認事項

1 - 1.役員分担

- ・前回の理事会において決定された追加役員分担についての各分担報告がされ、承認された。新たな追加分担は、堀田定吉理事(会員担当)、太田和親理事(ホームページ担当)、小出志朗理事(ホームページ担当)、松廣憲治理事(ディスプレイフォーラム担当)である。

1 - 2.前回議事録

2001年第1回日本液晶学会理事会議事録が承認された。

2.報告事項

2 - 1.総務委員会

- ・求人広告の液晶誌への掲載について、第5回日本化学会液晶化学研究会シンポジウムへの協賛、液晶討論会予稿集CD-ROMの事前送付についてのメール審議の結果が報告された。求人広告については、会誌の品位を落とさないよう関係理事がチェックすることとし、今後の求人広告についても基本的に掲載を認めることで承認された。第5回日本化学会液晶化学研究会の協賛は承認された。液晶討論会CD-

ROM事前送付については、審議事項で引き続き審議することが確認された。

2 - 2.財務委員会

- ・ 前回の理事会において決定された、ネットワーク委員会運営資金とサーバー契約加入費としての42万円を予備費より学会管理費の雑費項目へ移行する予算修正を行なったことが報告された。また、会誌の別刷料金請求業務に関する覚書とその会計処理に関する協議が事務センターとの間でされたことが報告された。なお、覚書は提出された原案で締結し、今年度契約に添付することが承認された。
- ・ また、2000年の各行事、委員会等の収支報告が済み、決算書類の準備が整ったことが報告され、提出された収支計算書、財産目録、貸借対照表を承認した。2000年財務理事、2001年財務理事の立会いのもと、監事に監査をお願いする旨が確認された。

2 - 3.編集委員会

- ・ 会誌Vol.5-No.2(4月25日)について報告がなされた。また編集委員会から各フォーラムに対してフォーラム会議報告を提出してもらうよう要望が出されたことが、報告された。

2 - 4.行事委員会

2001年液晶討論会・講演会

- ・ 2001年液晶討論会・講演会実行委員会、現地実行委員会、プログラム委員会の委員構成案が報告され、原案通り承認された。
- ・ 会誌4月25日号に掲載される討論会の開催、発表申込方法が報告された。

発表申込は6月1日(金)、予稿締切8月10日(金)、参加申込締切8月31日(金)とする事が報告され、発表申込については液晶ホームページから可能であることが報告された。参加登録に関する詳細はVol.5-No.3(7月25日号)に掲載される。

- ・2001年サマースクールのSiteが液晶ホームページ上に開設されたことが報告された。また同Site上で講演プログラム、参加費等も公開されたことが報告された。参加申込も同Siteから受け付ける旨、報告がなされた。
- ・同内容のものが、液晶誌Vol.5-No.2に掲載される。

2 - 5.研究委員会

- ・2001年の各研究フォーラム運営委員会の委員構成が報告された。また、あわせて今年各フォーラムの会議予定も報告された。

各フォーラムの研究会開催予定は以下の通り

物理物性フォーラム：11月下旬 名古屋

化学材料フォーラム：11月 開催地未定

フォトニクスフォーラム：6月22日(金) 13時～ 東京理科大学

11月(第2回) 開催地未定

ディスプレイフォーラム：8月(第1回) 開催地未定

11月(第2回) 開催地未定

リोटロピックフォーラム：11月 開催地未定

2 - 6.広報委員会

- ・4月18日(水)～20日(金)に協賛をしたEDEX2001とSEMI FPD EXPO2001が東京ビッグサイトで開催されたことが報告された。EDEX2001の会場内に液晶学会ブースを設置し、会誌、予稿集等展示、入会案内配布等を行なったこと報告された。また、10月にCEATEC JAPANとLCD/PDP Internationalの2つの展示会にも出展を予定していることも報告された。
- ・会員勧誘の為、入会案内書を関連各企業、団体へ理事を通して配布して頂けるよう要望が出された。

2 - 7. 会員委員会

- ・ 2001年1月、2月、3月の新入会、会員異動報告、退会報告が一覧リストにて報告された。新入会者、退会者共に承認された。

2 - 8. 国際交流委員会

- ・ 英国液晶学会との共催である、日英セミナーの開催案内が報告された。

主な内容は以下の通り

開催日：2001年9月5日(水)－7日(金)

開催場所：York, England

Seminar Chairman:野平 博之(日本液晶学会会長)、Roy Sambles(英国液晶学会会長)

2 - 9. ネットワーク委員会

- ・ 新サーバーの契約の完了と新ドメインの取得申請中であることが報告された。
- ・ 理事会用メーリングリストの設置が報告され、メーリングリストの設定については詳細を確認し、ネットワーク理事より各理事に対してメール報告される事が確認された。
- ・ ホームページ上の総会議事録、理事会議事録、学会賞、役員選挙規定の修正更新がされたことが報告された。
- ・ 今期から新設されるホームページ委員会とネットワーク委員会の間で協議が行なわれたことが報告された。

2 - 10. ホームページ委員会

- ・ ホームページ委員会の設置背景と液晶学会ホームページの現状が報告された。
- ・ 理事2名でホームページ委員会を構成し、ホームページの管理業務を担当することが報告された。

2 - 11.法人化委員会

- ・2月23日(金)に加藤副会長と佐藤総務理事2名で文部科学省へ法人設立準備に関するヒアリングに出向いた事が報告された。
- ・文部科学省認可の公益法人の現状と法人化手順、基本財産や事務局組織等の具体的要件と学会法人としての基本要件が報告された。今後の対応と課題も併せて報告された。
- ・来年春に日本学術会議への登録申請を行ない、平成17年の法人化申請を行なうとの見通しが報告された。

3.審議事項

3 - 1.次期役員選挙

- ・今年度の役員選挙準備日程と投票日程が報告された。また、前回理事会にて幡野副会長と佐藤総務理事に一任されていたもう1名の役員選担当理事の選任と一般会員からの理事会推薦役員選考委員(選挙管理委員)の9名の構成委員が報告され、承認された。

役員選挙担当理事：幡野純副会長、松浦昌孝常務理事、佐藤進総務理事

理事会推薦役員選考委員：赤羽正志(長岡技科大)、女川博義(富山大)、甲斐昌一(九州大)、

(一般会員) 加藤隆史(東京大)、川上英昭(日立製作所)、川村泰彬(理研)

澤田信一(チッソ石化)、松嶋欽爾(大日本印刷)、横山浩(電総研)

- ・役員選挙に関連する日本液晶学会会則、役員選任規定の改訂が提案された。審議の結果、幡野副会長を中心に鳥海99年度総務理事、横山2000年度総務理事、佐藤2001年度総務理事の計4名でワーキンググループを構成し改訂案を作成、理事会に報告することが決定された。

3 - 2.学会賞選考

- ・2001年度学会賞選考委員会と推薦委員会の委員構成案が提出され審議された。選考委員会は福田副会長を委員長とし松浦常務理事、佐藤総務理事に加え、編集委員会、行事委員会、研究委員会、国際交流委員会の各委員会から1名ずつの理事と各フォーラム主査で構成される事が決定された。各委員会と

フォーラムからの委員は次の通り、半那編集担当理事、近藤行事担当理事、檜山研究会担当理事、山下物理物性フォーラム主査、楠本化学材料フォーラム主査、関ディスプレイフォーラム主査、松田フォトンクスフォーラム主査、多辺リオトロピックフォーラム主査。尚、国際交流委員会からの委員は両国際交流担当理事の協議の上後日、福田副会長宛に連絡される。推薦委員会は杉浦前常務理事、横山前総務理事、赤羽前編集担当理事、加藤前研究会担当理事、永田前研究会担当理事に加え選考委員ではない各委員会担当理事、堀編集担当理事、氏家行事担当理事、大西研究会担当理事と国際交流担当理事1名と各フォーラム幹事の大内物理物性フォーラム幹事、清水化学材料フォーラム幹事、福島フォトンクスフォーラム幹事、飯村ディスプレイフォーラム幹事、川村リオトロピックフォーラム幹事で構成される。国際交流担当理事1名に関しては、選考委員と同様に福田副会長に後日連絡される。

3 - 3.総務委員会事項

3学協会からの協賛依頼について審議され、3件とも協賛に応じるとの決定がなされた。協賛する3学協会は以下の通り。

(1)ICNME2002国際会議

2002年12月10日から12日

SEASIDE HOTEL神戸

委員長：岩本 光正 (東京工業大学)

(2)The Second International Symposium on the New Frontiers of thermal Studies of Material

2001年11月26日－27日

東京工業大学 長津田キャンパス

委員長：阿竹 徹 (東京工業大学 応用セラミックス研究所)

(3)トライポロジー会議2001秋 宇都宮

2001年11月6日－9日

栃木県総合文化センター

会長：吹田 圭弘

・また、例年協賛しているEDEX2001(4/18～：東京ビッグサイト)、Asia Display/IDW' 01(10/16：名古屋

屋国際会議場)、第37回熱測定討論会(11/20：仙台国際センター)についても、野平会長と佐藤総務理事の検討の上、協賛に応じたことが報告された。

3 - 4.財務委員会事項

- ・法人化委員会報告に関連して、法人化に向けた積立金に関して審議された。3年後の法人化申請に向け積立金の必要性は確認されたが、運用規定、使途等については引き続き検討事項とすることが決定された。

既存の公益法人の状況を法人化委員会で引き続き調査し、理事会に報告することも確認された。

3 - 5.ホームページ

- ・ホームページの管理運営について審議され、ホームページ委員会は、定期的にホームページの更新状況、内容についてチェックを行ない、更新が必要と思われる頁については担当委員会へ修正更新を促すこと、また海外会員向けの英文ページの充実と国内会員向けとは違う情報提供の内容検討等を行なっていくことが決定された。
- ・また、ホームページ自体の内容、構成に対する会員からの意見に関しては、ホームページ委員会がその検討と改善にあたる。技術的サポートはネットワーク委員会が行なう。
- ・会員からの会員資格に対する問合せに関しては、従来通りその情報をダイレクトに事務局へ送り事務局にて対応をすることが確認された。
- ・サマースクール、討論会、フォーラムの開催に関する問合せも、各行事実行委員会にて対応することが確認された。
- ・学会誌掲載の学会記事、理事会議事録、会員名簿等の既に内容の固まっている更新については、各担当委員会または事務局より原稿を直接ネットワーク委員会へ送付し更新を依頼することが決定された。
- ・ホームページの掲載構成上、各委員会の協議が必要になった場合はホームページ担当、関連委員会担当理事、ネットワーク委員会で協議、調整することが確認された。

3 - 6.ILCC2000

- ・昨年の7月に仙台にて開催されたILCC2000の余剰金寄付について審議された。ILCC2000組織委員会からの寄付条件である、

(1)日本液晶学会に基金管理委員会を置く。

(2)基金委員会は日本液晶学会会長を委員長とし、その他に液晶学会理事会承認のもとで4名の委員を会

長が委嘱する。ただし内2名は最低2年間ILCC2000組織委員長および実行委員長とする。

(3) 用途については日本液晶学会の学術活動のサポートにあてる。

(4) 運営規則等は日本液晶学会理事会で起案して決める。

を承認して、ILCC2000からの寄付を受ける事を決定した。

- ・ 寄付予定金額は1,000万円余りであることが報告され、運用規則等は日本液晶学会理事会で起案して決めることも報告された。また、運用規定の起案ワーキンググループは、野平会長、福田副会長、佐藤総務理事、森財務担当理事、氏家行事担当理事、大西研究会担当理事、国際交流担当理事1名の計7名で構成することも決定された。国際交流担当理事1名に関しては後日、野平会長と両国際交流担当理事の協議の上、決定される。

3 - 7.2002年サマースクール、討論会開催地

- ・ 2002年のサマースクールと討論会開催地の審議がされたが、引き続き開催候補地を検討するとの決定がされた。希望開催地があれば野平会長又は佐藤総務理事宛にメールにて連絡をすることが確認された。

配布資料

1 - 1 : 2001年度日本液晶学会役員分担表

1 - 2 : 日本液晶学会平成13年度第1回理事会議事録

2 - 1 : 日本液晶学会決算書(案)、財産目録、貸借対照表、

平成13年度収支予算書(修正版)、別刷代金請求業務委託覚書、

別刷収入会計処理方法

2 - 2 - 1 : 2001年日本液晶学会討論会・講演会 実行委員会・プログラム委員会(案)

2 - 2 - 2 : 2001年日本液晶学会討論会発表募集「液晶4月号原稿」

2 - 2 - 3 : 日本液晶学会「サマースクール」

2-2-4：討論会、サマースクール開催記録

2-3：研究フォーラム報告、2001年度液晶フォーラム行事予定

2-4：液晶に関する日英セミナー開催報告

2-5：ネットワーク委員会 報告事項／審議事項

2-6：ホームページ委員会の設置議案

2-7：法人化に関する文部省打ち合わせ議事録、法人化準備積立金一使途案

3-1：日本液晶学会次期役員選考日程(案)、次期役員候補者選考委員案および選挙公示
について

3-2：2001年度学会賞選考委員、推薦委員名簿(案)

3-3：日本液晶学会討論会講演会予稿集等の電子化について

3-4：ILCC2000余剰金の処理について

番号無：学会誌「液晶Vol.5-NO.2」の目次